



Good Loser

校長 尾崎 淳一

珍しく風邪をひきました。少し前から、喉ががさがさしていたのは事実です。しかし、私はこれまで、インフルエンザにも新型コロナにも罹患したことはありません。骨折したことも縫ったこともなければ、入院の経験也没有ありません。鍛え上げた私の精神と肉体は無敵です。ところが、咳が止まらず10日(金)は欠席しました。私は病魔との闘いに敗れ去った「Loser=敗者」なのです。まだまだ鍛え方が足りません……。

ところで、「Good Loser」という言葉があります。文字通りに「良き敗者」という意味です。敗者に「良い」「悪い」があるのでしょうか。

11日は、燃える竜北バレーボール部の応援に行きました。私が会場に到着したとき、すでに男女とも第1セットの終盤でした。体育館に2面作られたコートで、男女が並んで試合に挑んでいるのです。この日の決勝リーグには、先週の予選リーグを1位で勝ち抜けた、男女各3チームしか進めません。竜北中男女バレーボール部が揃って勝ち抜いたことが、すでに素晴らしいのです。

「優勝=西三大会出場」を目指した熾烈な闘いの結論から申しますと、女子はここまで3連覇中の前回王者を相手に、大熱戦の末に敗れました。最終セットもリードする展開が長かっただけに、悔しい大逆転での敗戦です。もう1チームが前回王者にストレートで敗れた瞬間、竜北中の西三出場の夢が潰(つい)えました。竜北女子バレーボール部の皆さん、試合には敗れましたが、あなたたちは立派でした。大泣きの表彰式でも、返事と態度は抜群に素晴らしいものでしたから。精一杯の返事は会場全体に響き、全力の清々しい姿は皆の心に響きました。仲間と一緒に、笑顔を大切にして、何千球・何万球とボールを打ち込み、拾い上げたこの2年間の記憶と記録は、今後の人生の大きな財産となるはずですよ。あなたたちこそ、誇り高き「Good Loser」です。素晴らしい試合をありがとう。

男子の初戦。こちらが大きなミスをしているわけでもないのに、相手のスパイクやブロックがことごとく決まり、欲しいポイントは全て奪われていきます。セットカウント0-1の劣勢の中、第2セットも22-22まで差がつかず、「こういう日もある」と、私は半ば諦めの境地でした。内緒です。これも結論を申しますと、この試合を2-1の大逆転勝利、続いてエンジン全開のストレート勝利と2連勝を収め、西三大会出場が決定しました。3年生が生まれる前の平成20年度以来、17年ぶりの知立市の学校の優勝です。ちなみに、当時の優勝校も竜北中でした。余談ですが、客席にはピンク色のTシャツで揃えた、7・8人のギャル軍団が、常に威勢のいい応援で、選手を後押ししていました。私は目が悪いので分かりませんが、竜北男バレー保護者の皆様だったかも知れません……。

苦しい試合を経験した竜北男子バレー部の皆さん。西三も、「Good Winner」を目指して、「一戦必勝」の熱い闘いを期待していますよ。「竜北生、Go!!」



蝉が鳴き始めました。気温がぐんと上がりました。間もなく夏季休業を迎えます。安全で有意義な夏となるように、子どもたちへの丁寧な学習・生活指導を心掛けてまいります。

(令和8年7月15日)